

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～20℃台を示し、やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の31%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の63%（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり258kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり171kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり286kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり374kgの水揚げで、前週の53%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり16kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/20～5/23の4日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、太平洋公海域のアカイカ漁に出漁中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖で水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-9号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>